

NEWS LETTER

市民が主役のまちづくりの拠点「ちがさきサポセン」は20周年！



CONTENTS

- ・[特集1] 2022年度サポセン主催イベント・プログラム
- ・[特集2] 市民活動団体ガイドブック
- ・令和4年度実施市民活動げんき基金補助事業
- ・「さぼちゃんが行く！」湘南SHOW点
- ・ユースボランティア茅ヶ崎2022
- ・お知らせ/カレンダー

#サポセンはみんなの想いでできている



#サポセン20周年記念ロゴマーク、決定！デザインは大学生スタッフの内野さん。「イメージキャラクターのさぼちゃんをモチーフに、見た人が「ほっこり」できたらいいなという想いでデザインしました。誰もが見やすいような配色にしたこともポイントです」今後、様々な場面で登場予定。色違いバージョンもあるのでお楽しみに！

開催案内 ▶ ITスキルアップミニ講座2 「Windows10をWindows11に」

- ◇日時：6月28日(火)13:30～17:00
- ◇場所：ちがさきサポセン（フリースペース大）
- ◇対象：市民活動団体、自治会、社会福祉法人、公益法人、その他公共施設スタッフなど
- ◇講師：横溝 芳明さん（NPO法人パソコンボランティア湘南）
- ◇内容：Windows10と11で変更箇所、新たな便利機能、アップグレード前の準備 など
- ◇参加費：500円（資料代）
- ◇定員：10名（要申込・先着順/1団体2名まで）

※申込締切：6月27日(月)19時まで！

お申込はコチラ▶



マイクロソフトの新OS
「Windows11」への変更を
迷っている方、これから変更
する方におすすめの講座です！

ITスキルアップミニ講座 今後の予定

8月	Word チラシ作成
10月	Photo Scape X 画像編集
12月	PPT 動画制作
2月	Excel 活用

【特集1】2022年度 サポセン主催 イベント・プログラム

市民活動に関する各種相談をはじめ、団体の広報支援、学びや交流の場の提供など今年度も様々な事業を実施します。20周年を記念して、いつもよりちょっと特別な企画も検討中。最新情報はサポセンHPでチェック！

※新型コロナ感染予防のため、各種相談はできるだけ事前予約制、講座・イベントについては、オンライン(Zoom)開催、または少人数での対面開催となる場合があります。

■相談

どんなに小さなことでも、共に考え伴走します。
※2021年度 相談総数 127件

▶相談対応事例

- ・民間助成金申請のアドバイス、推薦コメント
- ・団体立ち上げ、規約の作り方、活動の進め方、事業企画の立て方など運営アドバイス
- ・団体のオンライン活動支援（場所や機器類の提供、使い方サポート、支援団体紹介など）
- ・地域の活動連携先、協力団体、関連機関等の紹介
- ・市への要望や市との事業連携コーディネート
- ・団体のイベント開催、ボランティア募集、クラウドファンディング実施等の広報協力
- ・ボランティア活動先、研修の受入れ先の紹介
- ・企業等から市民活動団体への物品仲介
- ・何か活動を始めたいときの生きがい相談など

■WEBサイト運営/SNSでの発信

ホームページやSNSで、サポセンの情報他、市民活動関連情報を発信中！

- ・施設の利用案内、サポセン事業、ニューズレター
- ・市民活動団体ガイドブック、イベント情報、NPO 追っかけレポート「さぼちゃんが行く！」
- ・助成金、団体支援情報、ボランティア募集など

▶Facebook「茅ヶ崎サポセン」

▶Facebookグループ「ちがさき市民応援団」

市民活動のイベントやボランティア情報等、公益活動をする人たちの交流の場

▶YouTubeチャンネル

「ちがさき市民活動サポートセンター」

▶Twitter@chigasapo

若者ボランティア情報などをゆる〜くつぶやき

▶Instagram@chigasakisapocen

ちょっとオシャレなサポセン情報

■市民活動団体データベース登録制度/ ガイドブック (WEB版・閲覧ファイル版)

茅ヶ崎市内を中心に活動する団体の最新情報を登録団体からの提供情報をもとに公開中。

→詳細は【特集2】へGO！

4

■ニューズレター *奇数月 年6回発行
主催事業や施設の利用案内等、サポセンの取り組み、活動支援情報、団体紹介レポートなどを掲載。協働のまちづくりに向けて市民活動の「今」をじっくり伝えます。1,500部発行。データベース登録団体には郵送とメール配信にてお届け。市内公共施設に配架ほか、関係施設・機関にも情報提供しています。

5

■ユースボランティア茅ヶ崎2022

中学生から大学生ぐらいまでの青少年が参加できる夏休みボランティア体験プログラム。サポセン開設の翌年 2003年度より社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会と共催で実施しています。高齢者・障がい者福祉、環境、子ども支援、地域安全、動物愛護、海外支援など受入れ団体は21。2021年度は85名が参加しました。

(2022年度募集詳細はP8)

イメージキャラクター
ドリーミー



7

■若者ボランティア支援

ひとりひとりの自分らしい活動を一緒に探します。サポセンでも随時、相談・活動受入れ中！

茅ヶ崎高校ボランティア同好会、茅ヶ崎西浜高校JRC部ほか、昨年度は「ユースボランティア」や「ボランティア塾」をきっかけに、延べ122名の若者が活動！サポセン事業や業務のお手伝い他、「こどたん+」の自主企画（「プラクラ」動画制作）で力を発揮してくれました。

8

■ボランティア塾 in 鶴嶺高校

鶴嶺高校1年生対象、「探究学習」の授業協力。生徒が地域や社会課題を知り、自分の生き方を見つめ直す機会となるよう、市民活動団体による、体験型授業をコーディネートします。

*9/29(木)午後実施予定

9

IT スキルアップ！ミニ講座 ＊偶数月 年6回

特定非営利活動法人パソコンボランティア湘南との共催事業。対面で、パソコン利活用の実務講座を開催していきます。(P1参照)

NPO 講座 ＊年4回実施予定

団体の運営（組織基盤強化や資金調達、会計実務）、広報力アップ（チラシづくりやインターネットによる情報発信）等、市民活動に役立つスキルや知識を深める学び講座。
今年度は、ホームページ制作等、団体のオンライン活動を支援する内容を予定しています。

■図書コーナー

NPO 運営、地域コミュニティ、居場所、SDGs など、市民活動やまちづくりに関する旬な専門書籍や雑誌が充実！年に2回、新着図書を紹介しています。
2週間の貸出可（新着図書は一人1冊まで）

オススメ新着
図書最新版は
こちら▼



■館内掲示物コーナー

市民活動イベントチラシ、広報紙やパンフレット、団体メモリーファイル等の団体情報の他、助成金や講座などのお役立ち情報、市民活動の関連施設や市のお知らせなど。直接手にとってみるができます。
持ち込みチラシ歓迎！（公益目的限定）

地域の居場所づくり交流会Ⅶ ＊年1回実施

様々なタイプの居場所や先駆的な取り組みの事例紹介、居場所開設のヒントや運営ノウハウについての学びとワークショップ、交流会。

2019年度の交流会Ⅳがきっかけで生まれた「茅ヶ崎居場所づくりネットワーク」では、Facebook等を通じて情報交換をしています。

利用者懇談会

サポセン利用者・団体の情報交換、交流会。

10

SDGs カフェ ＊年3回実施予定

持続可能な開発目標 17 のテーマにちなんだ様々なゲストを迎え、私たちが今できることについて学び語り合います。出会った人たちがつながり、次へのアクションのきっかけをつくる交流会。

2021年度は、キックオフ「SDGsの基礎知識と各地の取り組み事例紹介」ほか、スポーツ、環境(ちがさきのごみ)をテーマに開催。



SDGsカフェ

11

げんき基金・団体支援 (P6参照)

- 申請を考えている団体向け
12月 制度説明会（主催：茅ヶ崎市）
12～1月 「伝わる！企画書作成会」
申請やプレゼンに向けての個別相談
- げんき基金補助事業を実施している団体向け
2～3月 報告書作成アドバイス
4～5月 事業の進め方アドバイス

12

行政との協働に向けた場づくり

茅ヶ崎市と連携し、地域課題の解決に向けて、様々な機関が連携・協力していくための仕組みづくりを検討しています。「行政とNPOとの協働」をテーマに市職員研修にも協力しています。

2023

1

こどたん+プラス 2023 ＊2月～3月開催予定

ちがさきを知る、みんなでつながる、新しいことにチャレンジする～体験型多世代交流イベント！市民活動団体や行政、地域の団体や事業者、茅ヶ崎をもっと元気になりたい！と、自発的に活動する人たちと一緒に企画、実施しています。

2021年度は、コロナの影響でオンライン開催。動画配信、SDGsクイズ、Zoomライブ配信など29団体が参加し、日頃の活動を紹介したり、参加者との交流を楽しみました。またサポセン企画として、アンケート「おしえて！好きなあそび、むかし好きだったあそび」を実施。10代～70代134名からの回答をもとに集計し、最近の遊びから地域に根ざした懐かしい遊びまで、館内掲示と特設ページでシェアしました！

2

3

2022 アーカイブ▼



【特集 2】 市民活動団体ガイドブック

団体からご提供いただいた貴重な情報をもとに、毎年内容を更新して公開しています。ガイドブックの 20 年をふりかえりながら、茅ヶ崎の市民活動の変遷をご紹介します。

1. ガイドブックのはじまり

初期のころは、茅ヶ崎市(当時の市民活動推進課)が市民活動団体情報をまとめて発行していました。

～「平成 12 年 3 月発行版、はじめに」から一部抜粋～

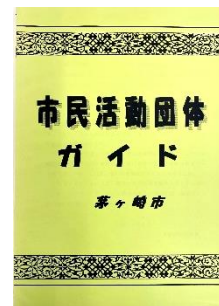
茅ヶ崎市では、社会福祉活動をはじめ文化、防災、環境、国際交流や各種のスポーツ活動など様々な市民活動が活発に行われています。こうした活動は、目前に迫った 21 世紀に向けてより豊かな地域社会を築いていく上で、ますます重要な役割を果たすものと期待されています。また、社会の成熟化に伴い、人々の考えも、ものの豊かさの充足を求める方向から、心の豊かさの充足を求める方向へと変化し、現在では多くの方が市民活動に関心を持ち、積極的に参加されるようになってきています。(中略) 今後、このガイドブックにより市民活動のきっかけづくりや活動団体相互の情報交換が行われることを期待するものです。



2000年/平成 12年 3月



2001年/平成 13年 4月



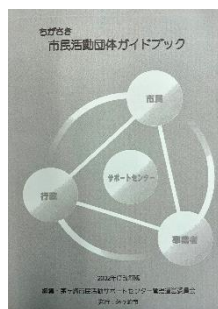
2002年/平成 14年 4月

初版の掲載団体は 82。内訳は、福祉の増進(23)、子どもの健全育成(17)、文化・芸術・スポーツの振興(12)、環境の保全(8)、社会教育の推進(3)、まちづくりの推進(3)、男女共同参画社会の形成の促進(3)、災害救援活動(1)、国際協力(1)、その他(11)

2. 2002 年 4 月、市民活動サポートセンター開設

サポセン開設後の第 4 版からは「市民活動を行う市民の視点をもって、茅ヶ崎市民活動サポートセンター管理運営委員会が編集し、発行」。現在の形式とは異なりますが、サポセンホームページでも「WEB 版」として見られるようになりました。

掲載団体数は 171。NPO 法人・任意団体とも特定非営利活動促進法(1998 年/平成 10 年 12 月施行)に基づいた 12 の活動分野に分類し、シンボルマークをつけて分かりやすく表記。文字情報に加え、活動の様子がわかる写真掲載にもこだわりました。



2002年/平成 14年 10月

発行責任者が特定非営利活動法人 NPO サポートちがさきに。2003 年/平成 15 年 6 月に法人化し、2005 年/平成 17 年より、指定管理者としてサポセンの管理運営を担うことになりました。



2005年/平成 17年 9月

3. 市民のみなさんに、もっと活用してもらえる冊子をめざして

2003 年度版からは、付属資料として「公共施設一覧」や「市民活動等災害補償制度」「げんき基金」など市の支援制度を紹介。その後も団体情報に「一言紹介」項目を加えたり、「サポセン利用案内や主催事業の紹介」「ボランティア募集情報」「市民活動・NPO についてのコラム」「ガイドブックの使い方」「地域メディア一覧」など、毎年掲載内容を見直し、冊子の充実を図りました。

2010 年度版からは、より親しみをもって手に取ってもらえるよう、イメージキャラクター「さぼちゃん」の分野別イラストを掲載した表紙にリニューアル。2018 年度版、2020 年度版では彩り豊かな茅ヶ崎の市民活動のイメージを伝えるために表紙をカラーにしました。

2021 年度以降は、インターネットの普及によりホームページや SNS で情報発信する団体が増えたこと、紙媒体での情報収集ニーズが少なくなったこともあり、冊子版の発行は終了し、WEB 版をメインに市民活動団体の情報提供をしています。

2022 年度 5 月現在の掲載団体は 306。分野の多い順に、福祉の増進(82)、文化・芸術・スポーツの振興(78)、子どもの健全育成(56)、まちづくりの推進(43)、環境の保全(29)、社会教育の推進(27)、人権の擁護・平和の推進(22)、地域安全、国際協力、男女共同参画、情報化推進など。(活動分野が複数ある団体もあり)

2011 年の NPO 法改正で活動分野は 20 に



2010年/平成 22年 8月



2016年/平成 28年 8月



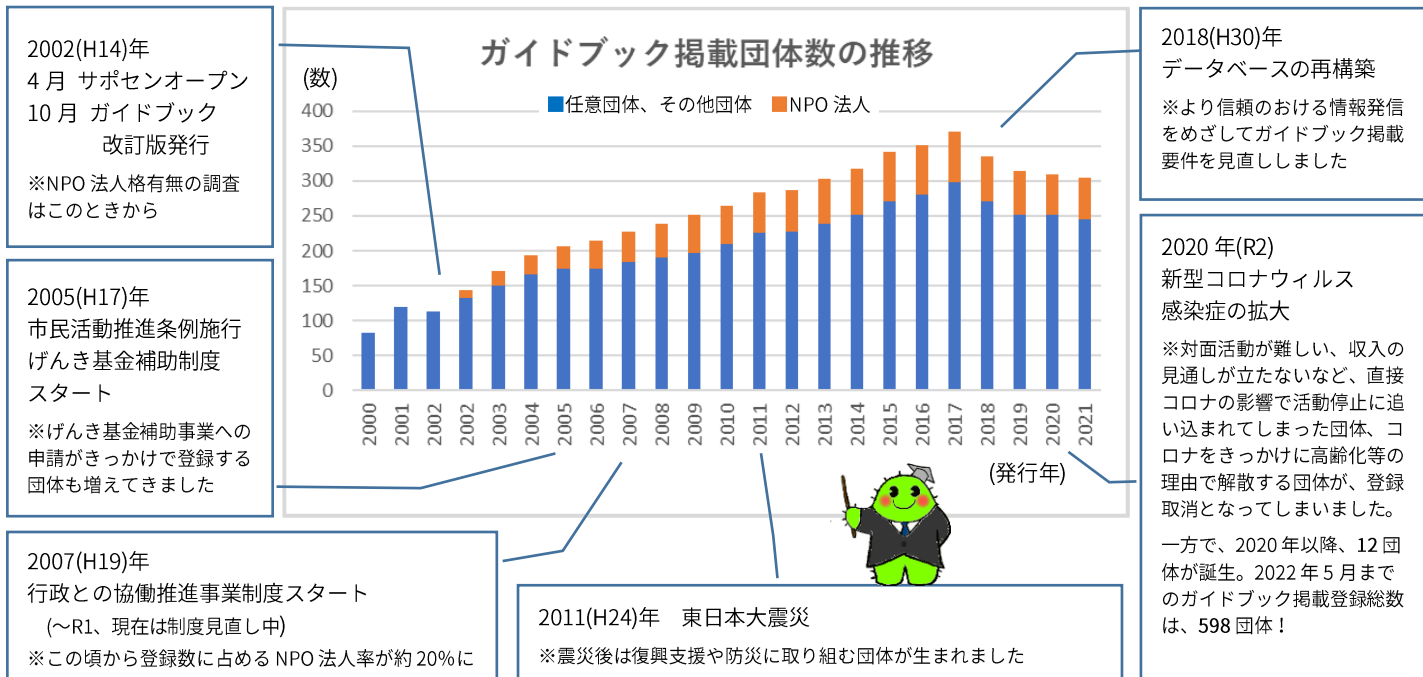
2018年/平成 30年 8月



2020年/令和 2年 8月

4. データでみる茅ヶ崎の市民活動

※2022年5月までの登録データをもとに作成



★ガイドブック トリビア★

●2002年改訂版の掲載 143 団体のうち、現在もガイドブックに掲載されている団体の数はどれくらい？

名称変更や後継団体含めて 75 団体 (52%)

目的を達成して解散する団体もありますが、活動分野にかかわらず、単独で、あるいは行政等と連携しながら、課題解決に取り組み続けている団体が数多くあります。

●団体名で使われる言葉で一番多いのは？

もちろん、「ちがさき」！ (104 団体、全体の 34%)

漢字、ひらがな、アルファベット、表記はいろいろ。次に多いのは「しょうなん」です。(57 団体、全体の 18%)

●いちばん歴史のある団体は？

ボーイスカウト茅ヶ崎第一団 (1950年12月設立)

●設立がいちばん最近の団体は？

ASOVIVART あそびばーと (2022年3月設立)

あそびとアートで子どもと地域社会を楽しくつなぐ活動

●ここ数年、問合せが増えている活動分野は？

保護猫・保護犬の活動 (現在 5 団体が登録)

サポセンホームページの検索上位にランキング。サポセンへの直接問合せも年間 20 件ほどあります。

5. 時代とともに変化する活動内容、活動スタイル

少子高齢化、地球温暖化と多発する自然災害、感染症パンデミック、様々な格差の拡大、急速なデジタル化、依然として続く厳しい財政状況など、社会情勢の変化に伴い、社会的課題の解決のため、市民の多様なニーズに応えるための新たな活動が生まれています。

福祉分野の活動や、茅ヶ崎の豊かな文化・歴史・自然を守る活動に加え、高齢者や子どもの居場所、スポーツ・健康増進、よりよい地域づくりやまちの活性化、動物の保護活動、子ども・子育て支援、学習支援、防災・地域安全、人権・国際分野の活動など、内容もますます多種多様になってきました。

市民活動に取り組む人の広がりも近年の特徴です。本業を持ちながら、第二の仕事をしなが、専門スキルを活かして意欲的に市民活動に取り組む姿が頼もしいです。若い世代ではコアメンバーがスピーディに意思決定し、SNS を活用して仲間を集め具体的アクションにつなげていく、そんな新しい活動スタイルも見られます。

進化し続ける茅ヶ崎の市民活動にご注目ください！

「市民活動団体ガイドブック」を活用しよう！



▲ガイドブック WEB 版

サポセン HP にて活動写真や紹介文など、個性あふれる団体情報を公開中。経験や知識、技、熱意、仲間とのつながりを活かし、課題解決や新たな価値の創造を目指して主体的に活動する市民の力がたくさん詰まっています。

「活動分野」や「キーワード」で検索、団体ホームページなどリンク先に飛ぶこともできます。活動に参加したい、団体と連携・コラボしたいと思ったら、直接連絡、またはサポセンまでお気軽にお問合せください。新たな登録もお待ちしております。

令和4年度実施 市民活動げんき基金補助事業 9事業が決定!



市民活動団体の自主的で公益的な事業を市が財政的に支援する「市民活動げんき基金補助制度」。
3月の公開ヒアリング・公開プレゼンテーションを経て、9事業が採択されました。

※財源となる「げんき基金」は、市民や事業者からの寄附金です。

(マッチング・ギフトは一時休止中。寄附の累計額 12,521,922 円/令和4年2月末現在)

公開ヒアリング・プレゼン冊子など詳細は、市 HP ▶



団体名	事業名/事業の概要(*)	交付額/ 総事業費(円)
スタート支援 (1事業) ☆団体の自立を促進し、活動を軌道に乗せるための事業		
多様性野菜 活用支援協会	多様性野菜活用の料理教室 *規格外の野菜や果実を使って、うみかぜテラスで調理教室を開催。 廃棄野菜(多様性野菜)の活用法を広く普及させるとともに、茅ヶ崎市で循環できる食材の仕組みを構築する。また、将来的に多様性のある人材にこのプロジェクトに参加してもらい雇用の創出にも取り組んでいく。	100,000 280,000
	ステップアップ支援 (9事業) ☆団体の活動の拡充を図る事業または活動の発展を目的に次の一步として新たに行う事業	
特定非営利活動法人 こども応援丸	鶴嶺中学の学習支援開始の感染防止対策とパワフル大作戦 *市内3中学での学習支援に加え、新たに鶴嶺中での活動を通じて、子どもたちの居場所づくりをする。感染防止物品購入ほか、活動基盤強化のための広報紙発行、SNSを活用した相談受入れ体制づくり、基地局となるホームページ作成など。	123,000 154,245
	湘南Liebe	赤ちゃんとママのためのコンサート ~こどもから大人まで楽しめるコンサート~ *茅ヶ崎市民文化会館にて3回、クラシックや童謡の生演奏と、助産師または看護師によるお話と質疑応答を行う。コロナ禍でより一層孤立を感じるママたちのために情報交換・友達づくりの場を提供する。
一般社団法人 4Hearts	スローコミュニケーションプロジェクト *ゆっくり伝える。ゆっくり受け取る。すべての人の「伝えたい」が歓迎される社会へ。「障害者も含めた誰ひとり取り残さない地域活性化」を目指し、ポータルサイトの運営、学生ボランティアによるSNS発信、みみこカフェ、雄三通りの活性化、企業研修やワークショップの実施、ランチタイムのチャレンジキッチン等。	600,000 800,649
	BENIRINGO	①フリーペーパーの編集・発行 ②WEBサイトの更新と情報発信 *茅ヶ崎を中心とした湘南地域が抱える環境問題や地域や社会課題、解決の取り組みについて、企業や行政、個人にインタビューを行い独自の視点でまとめ、無関心な人や若い世代に興味を持ってもらえるよう、デジタルネイティブ世代としてPOPな情報発信を行う。また、より多くの人が気軽に情報に触れることができるように、公式HPの改善を行う。
ふらっと南湖	子どもを大切に育むための「子どもの権利」勉強会&地域交流会 *地域で子どもや子育て家庭を支えるために、「子どもの権利」啓発を強化する。 全6回の勉強会の内容は、子どもの福祉の現状、里親を知る映画鑑賞、社会的養護当事者活動家との対話、参加者ディスカッションなど。 活動拠点「南湖ハウス」での地域交流イベントも開催する。	298,000 373,240
	わんにゃんマルシェ 実行委員会	いのちの教室(仮) in 「わんにゃんマルシェ」 *捨てられるペットの現状や原因を知ってもらい、「動物を飼うということは命を預かること、一生責任を持って飼育するということ」、また地域のこととして考えるきっかけにしてもらうための啓発活動を行う。年に一度開催のマルシェ内で実施するほか、動画を作成してYouTube配信する。
特定非営利活動法人 SUPUスタンドアップ パドルユニオン	夏休み子供向けSUP体験会 2022 *コロナ禍で運動する機会が減ってしまった小中学生のために、密になる機会が少ない海をフィールドに、サーフィンよりも簡単にできるSUPを用いて楽しくスポーツができる機会を提供する。海のルールやマナーなども伝え、海の安全啓蒙も行う。	600,000 1,235,050
マザーアース茅ヶ崎	心の詰まりを取ろう 怒りを知る「アンガーマネジメント講座」 *市内での防災・減災活動で感じた「信頼関係を築く重要さ困難さ」を改善するために多様性を認める入口となる「アンガーマネジメント」を中心に、「心理的安全性の確保」の意味を広げていく。講座はコミセンなどで月1回開催予定。	190,000 250,981



茅ヶ崎で活躍中の市民活動団体を追っかけレポート！

さぼちゃんが行く！

Blog



Facebook



Twitter



湘南 SHOW 点

「アートを通じて、地元・湘南を盛り上げる！」をコンセプトに湘南のアートや文化・歴史・アーティストを紹介支援するために独自のイベントやワークショップを開催。アート情報番組を制作し、ネットTVやラジオ番組で全国配信もしています。
正会員9名、賛助会員8名

《代表の清水友美さんにお話をうかがいました》

茅ヶ崎に恩返し

地元茅ヶ崎で幼少期からピアノ、モダンバレエ、書道、デッサン教室などに通い、のびのびと育った清水さん。音大か美大か迷った末、音楽大学のピアノ科に進学しました。大学時代もピアノだけではなく、ダンスや美術モデルのアルバイトをしていました。クラシック音楽だけでは将来仕事がないのではないかという危機感もあり、現代音楽やポップスも勉強しました。そして今日までジャンルの垣根のない「総合芸術」をずっと体現していきました。

「表現をすることが好きで、ピアノや歌、ダンス、美術、演劇も全て同じ感覚で表現しています。本業のピアニストとしての活動もピアノ教室運営も市民活動も、育った地元で恩返しをしたいという思いでやってきました。いろいろな人に、特に子どもたちに、アートを通して地元を愛着をもてるように、湘南の文化や歴史を学べるようになってほしいのです」

出会で広がっていく活動

湘南 SHOW 点は、2010年に日本画家の速水御舟の孫の陶芸家 速水夏彦さんが立ち上げ、湘南のアートシーンやアーティスト、歴史を紹介するネットTVを制作していました。清水さんはネットTV番組「清水友美の湘南 SHOW 点」を担当することになり、その後代表も引き継ぎました。番組を通じて、プロのアーティストや政治家、様々なジャンルの方をゲストに招いているうちにだんだんサロンのようになり、いろいろな方と出会うこととなりました。

その出会いが市民活動げんき基金助成事業である2012年の「湘南 SHOW 点2周年イベント～川上音二郎版オセロ・リーディング公演を中心にして～」や2017年の「ホノルル・世界へ発信！『茅ヶ崎・赤とんぼ音頭』『浜降サンバ』」へと繋がっていきます。プロモーションビデオ「茅ヶ崎・赤とんぼ音頭」「浜降サンバ」はビデオに参加した多くの市民の方の協力で完成しました。

市民活動のオンライン化にいち早く取り組み、

ZOOMでのワークショップや、YouTubeライブ配信を活用したイベントを実現してきた湘南



SHOW 点。コロナ禍でもオンラインでの活動が新たな出会いを生み、活動の輪がさらに広がっています。

すべての人にアートを楽しんでもらいたい

これまで茅ヶ崎の文化・芸術を斬新な切り口で紹介し、湘南を盛り上げてきた清水さんたちですが、実は自分がやろうと思ったことではなく、出会った人に頼まれたことを夢中でやってきて生まれたこと。「流れるままに人と出会い、依頼されたことを頑張っているうちにいつの間にか12年目という状況」だそうです。

昨年からは本格的に演劇ワークショップをスタートしています。今年は創る側の喜びを知ってもらうワークショップを展開していくとのこと。「教えられた通りにやるだけではなく、自分で考える...。子どもを中心に、地元をテーマにオリジナルソングを創ったり、ダンスの振付を考える、そんなことをやりたい」そして企業とのコラボや原爆をテーマにした戯曲などの構想もあるようです。

「年齢や性別、障がいの有無、LGBTQ等関係なくアートを楽しんでもらいたい」「学校の価値観だけにとらわれず居場所を見つけてほしい」いろいろな人が多様性を認め合い楽しむ、そんなワークショップを目指し、「人には無限の可能性があること」そして「個性や多様性を認め合うと、こんなに自由で楽しいんだ！」という思いをこれからも表現して伝えていきたいと熱く語ってくれました。



清水さんのはにかんだ笑顔と綺麗な手がとても印象的でした。今までの活動での人との出会いが縁になり、円になっていく。繋がっていく輪の広がりがこれからも楽しみです。茅ヶ崎で、湘南で、アートを身近に感じて親しむ人がもっと増えることを願っています。

★子ども達によるダンス振付の成果発表会

8/28(日)茅ヶ崎駅南口長谷川楽器ホール
(演劇ワークショップや、演奏やダンスの成果発表も同時開催)

★湘南 SHOW 点の正式メンバー募集中！

8/28(日)の成果発表を観覧したい方(入場無料)
ボランティアスタッフも大募集中!!

お知らせ

■ サポセン出入口では一時停止！



敷地から道路に出る際は自転車、歩行者に十分気を付けましょう。歩道の前では、しっかり止まり左右の確認をしてください。お一人お一人安全確認をお願いします！



注意喚起看板を設置中▶

■ パソボラ湘南主催 IT 支援

パソコン・スマホのお悩み事をサポセンに来て相談できます。(無料、各回定員4名)

開催日：第2・第4月曜日

①13:00~14:00

②14:30~15:30



※お申込みは直接 NPO 法人パソボラ湘南へ

■ 広報ちがさき「市民の活動だより」

毎月1日発行の「広報ちがさき/市民の活動だより」コーナーで市民活動団体を紹介しています。

▷6/1号：茅ヶ崎楽友会

▷7/1号：特定非営利活動法人

SUPU スタンドアップパドルユニオン

紙面の都合上、掲載が延期される場合があります

■ 「ユースボランティア茅ヶ崎 2022」

青少年が夏休みを利用してボランティア体験ができるプログラムです。環境保全、子どもや高齢者・障がい者支援、地域安全、国際協力など 21 の受入先と事前に面談し、体験先を選びます。

▷募集期間：6/1(水)~7/4(月)

▷定員：100名(申込制/先着順)

▷対象：中学生から大学生(25歳まで)

在学中でない方も参加OK



▲申込はコチラ

STEP1 オリエンテーション：参加必須

～注意事項、体験希望先との日程調整～

第1回：7/8(金) 18:30~20:00

第2回：7/9(土) 15:30~17:00

第3回：7/9(土) 18:30~20:00

会場：茅ヶ崎市民文化会館3階・4階会議室

※各回40名まで

※3回とも都合が悪い場合は、7/10以降個別対応可能

STEP2 ボランティア体験

7/21(水)~9/10(土) ~体験は2日以上~

STEP3 シェア de ボランティア

～感じたことや学んだことを振りかえろう～

8/23(火)14:00~16:00

会場：茅ヶ崎市民文化会館大会議室

共催：(社福)茅ヶ崎市社会福祉協議会

(認定特非) NPO サポートちがさき



サポセンカレンダー

<○休館日、□館内利用制限日>

6月							7月							8月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5					1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31	29	30	31				

・6/28PM IT スキルアップミニ講座

※最新情報はホームページにてご確認ください。主催イベント開催のため、上記以外でもフリースペースのご利用を制限させていただきます場合があります。ご理解ご協力の程お願いいたします。

ちがさき市民活動サポートセンター

開館時間 9:30~21:30 (休館日：毎月第3水曜日、年末年始(12/28~1/3))

アクセス JR茅ヶ崎駅北口より徒歩10分程度・駐車場14台・障がい者用駐車場1台・駐輪場あり

連絡先 〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎3-2-7 TEL/FAX：0467-88-7546

E-mail：s-center@pluto.plala.or.jp URL：https://sapocen.net/

編集・発行 認定特定非営利活動法人 NPOサポートちがさき

(指定管理期間：2021年4月1日~2026年3月31日)

サポセンキャラクター
“さぼちゃん”



サポセン HP